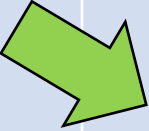
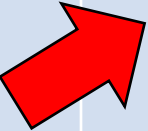
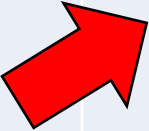

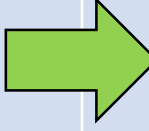
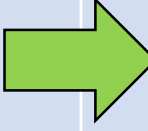
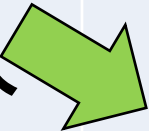
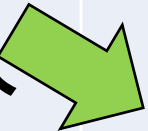


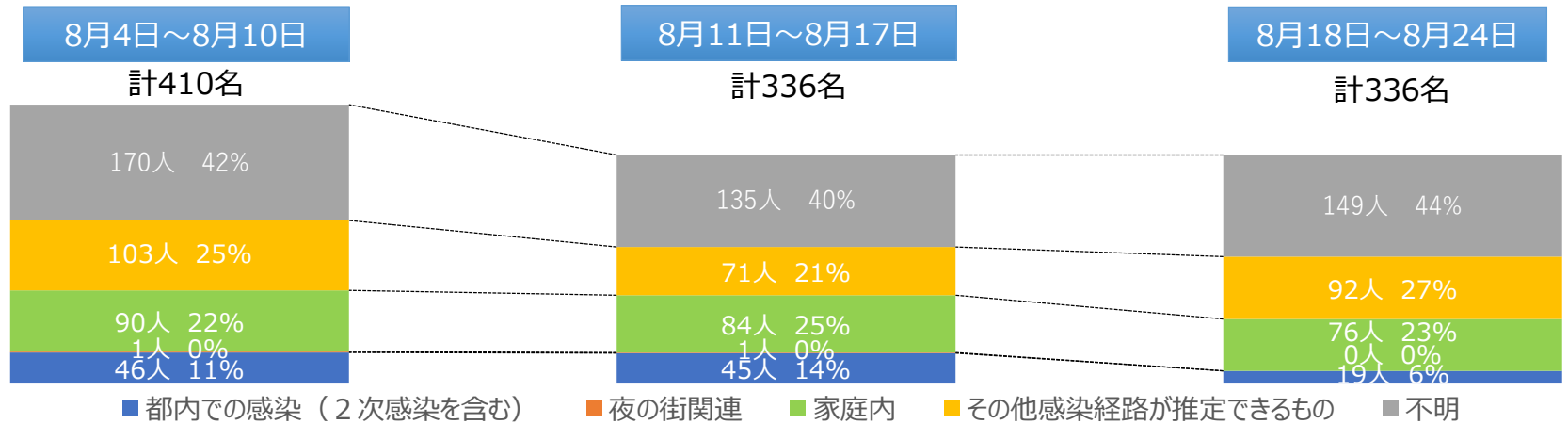
埼玉県の感染動向の推移について

	8月5日～ 11日	8月12日～ 18日	8月19日～ 25日	最大値
新規陽性者数 ※ 1週間の合計	397人 	324人 	347人	435人 (8/2～8/8)
重症病床の占有率 ※ 1週間の平均	5.2% 	9.8% 	11.1%	32.6% (4/21～4/27)
陽性率 ※ 1週間の合計	3.9% 	3.8% 	3.5%	15.1% (4/6～4/12)
東京都の感染者数 ※ 1週間の合計	2,230人 	1,830人 	1,528人	2,424人 (7/30～8/5)

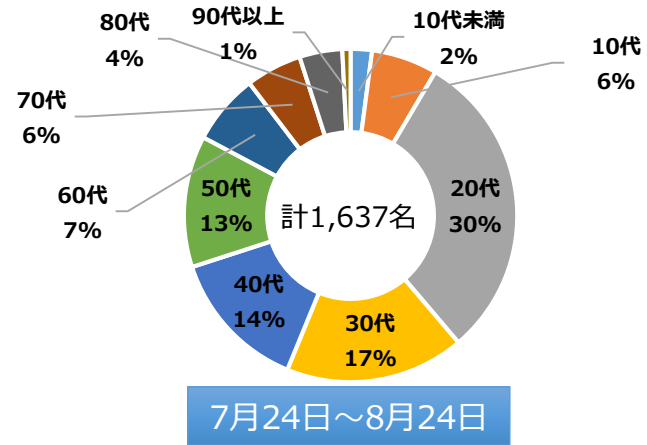
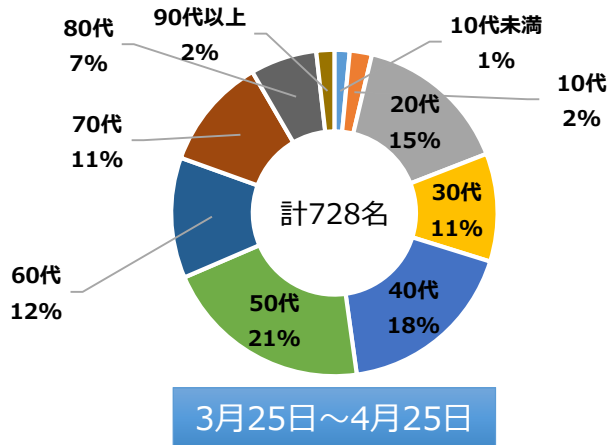
※8月18日～8月24日の数値

埼玉県の感染動向の推移について

感染疑い経路区分



年齢構成



埼玉県におけるイベントの取扱いについて

(特措法第24条第9項)

分類	内容
プロスポーツイベント等 (全国的移動を伴うもの)	◆参加人数、収容率は、国の目安を上限 <ul style="list-style-type: none">参加人数の段階的な引き上げ参加人数、感染防止対策の宣言を要請開催結果を検証し、改善点などを発表国及び県の接触確認アプリを必ず導入
その他のイベント	◆国が示す目安に準じる ◆大規模イベント では、 国及び県の 接触確認アプリ を 必ず導入

※すべて9月1日から9月30日まで

県民・事業者の皆様へのお願い

(特措法第24条第9項)

◆ **発熱**の症状があるなど**体調の悪い人の外出自粛**

(医療機関への受診等を除く)

◆ **夜の繁華街**に限らず、**感染症対策**が十分にとられていない**施設の利用回避**

◆ 国及び県の**接触確認アプリ**の**活用・導入促進**

◆ 彩の国「**新しい生活様式**」**安心宣言**及び業界のガイドラインを活用し、**感染症対策を徹底**

◆ **テレワーク、時差出勤**のさらなる**推進**

◆ キャバクラ店やホストクラブなど**接待**を伴う**飲食店**のうち、業界ガイドラインに従った**感染症対策**が徹底されていない**施設の使用停止**

都内への外出についてのお願い

◆ 高齢者や基礎疾患のある方の都内への不要不急の外出自粛

◆ 都内への観光は自粛、旅行や観光は近場や県内へ

◆ 都内での夜の繁華街への外出の自粛

◆ 都内での大人数での会食、飲み会の自粛

水害・土砂災害への備えについて

◆本格的な台風シーズンを迎えるに当たって



① リスク情報の事前確認

② リアルタイムでの情報入手

③ ためらわずに行動に移す

水害・土砂災害への備えについて ① リスク情報の事前確認

◆ **自宅・避難所・避難経路には、水害・土砂災害リスクがどのくらいあるのか事前に確認**

埼玉県洪水浸水想定区域

🔍 検索

埼玉県土砂災害警戒区域

🔍 検索

◆ **どこを通過してどこに避難するか事前に決めておきましょう**

＜あなたのまちのハザードマップの入手方法＞

ハザードマップポータルサイト

🔍 検索

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

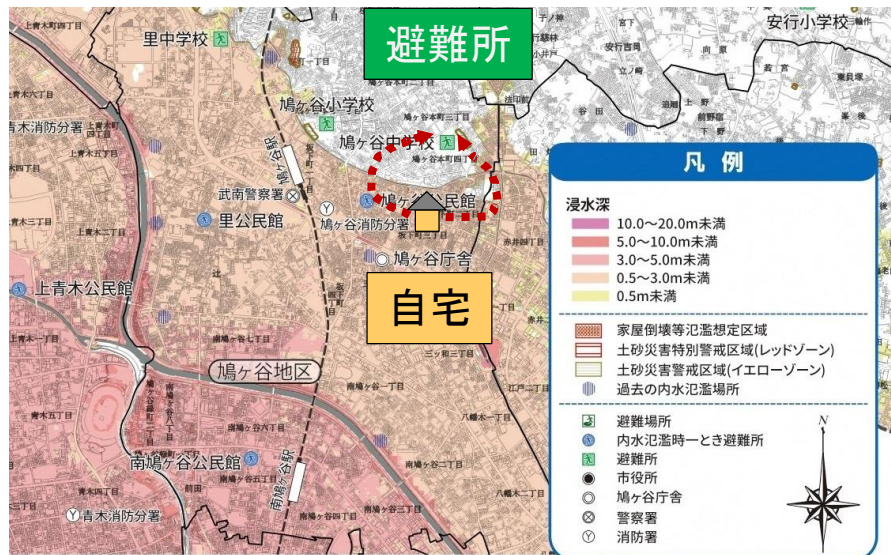
まちを選ぶ

都道府県

▼

市区町村

🔍



水害・土砂災害への備えについて ② リアルタイムでの情報入手

◆ 市町村からの情報と併せ、自らリアルタイムの情報を入手することが大事

埼玉県川の防災情報

🔍 検索

河川監視カメラ情報



川の防災情報メール

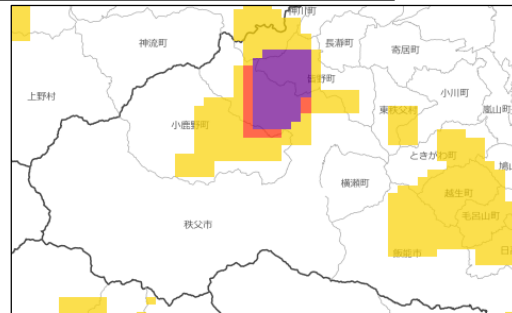


埼玉県土砂災害警戒情報

🔍 検索

土砂災害警戒判定メッシュ情報

危険度	
■	実況で土砂災害警戒情報の基準に到達
■	予想で土砂災害警戒情報の基準に到達
■	実況または予想で大雨警戒の土壌雨量指数基準に到達
■	実況または予想で大雨注意報の土壌雨量指数基準に到達



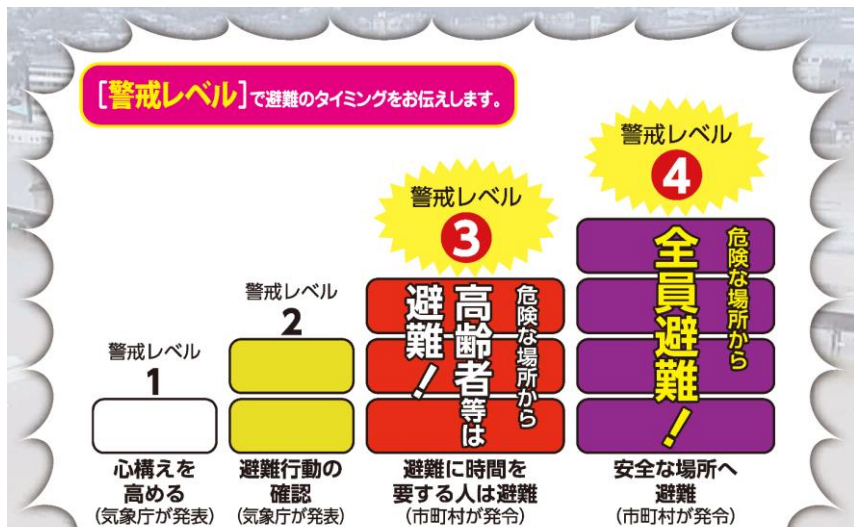
テレビでの情報発信



Yahoo!天気・災害でも見るすることができます

水害・土砂災害への備えについて ③ ためらわずに行動に移す

◆ 逃げ遅れゼロへ！避難のタイミング



[警戒レベル 5] (市町村が発令) は既に災害が発生している状況です。

◆ 市町村では避難所の新型コロナウイルス感染症対策を実施しています

災害の危険性が高まった時は、危険な場所から躊躇なく避難

＜安全が確保できる場合＞

→ 「在宅」や「知人・親戚宅」への避難も検討を

◆ 近隣の方などに避難の声かけを！

【2020年キャッチフレーズ】
「避難の声かけ、安全の確認」

